

新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望について

大阪府内においては、新型コロナウイルス感染症が、第二波、第三波を大きく上回る速度で急拡大し、急激な重症者の増加により医療提供体制は非常にひっ迫しており、先般「緊急事態宣言」が発令されるなど、極めて厳しい状況が続いている。

このような中、今後、感染力や重症化のリスクが従来とは異なる変異株の急速な拡大を抑え込むため、ワクチン接種を既存の手法にとらわれることなく新たな発想で、迅速に進める必要がある。

そのため、国においては、緊急事態宣言が発出されるなど、極めて厳しい感染状況にある地域を対象として、下記の事項を含んだ新型コロナワクチン接種迅速化プログラムを策定するよう要望する。

記

1. 都市部において昼間人口への接種を促進するなどの観点から、例外的に都道府県が接種主体として集団接種を実施できるようにすること。
2. 接種を実施する医療従事者の拡充を図る観点から、歯科医師のみならず、医学部・看護学部の学生等や薬剤師に対して研修などを行った上で、ワクチン接種を行えるようにすること。
3. 今後、ワクチンが十分に供給される状況を踏まえ、接種の迅速化を図る観点から、住民票所在地以外の市町村における接種についての手続きを廃止すること。
4. 企業の従業員等への接種を進める観点から、職場での集団接種の実施を可能とするよう制度化を図るとともに、ワクチン休暇の創設について経済団体に働きかけること。

令和3年4月28日

厚生労働大臣
田村憲久様

大阪府知事 吉村洋文

新型コロナウイルスワクチン接種に関する要望について

大阪府内においては、新型コロナウイルス感染症が、第二波、第三波を大きく上回る速度で急拡大し、急激な重症者の増加により医療提供体制は非常にひっ迫しており、先般「緊急事態宣言」が発令されるなど、極めて厳しい状況が続いている。

このような中、今後、感染力や重症化のリスクが従来とは異なる変異株の急速な拡大を抑え込むため、ワクチン接種を既存の手法にとらわれることなく新たな発想で、迅速に進める必要がある。

そのため、国においては、緊急事態宣言が発出されるなど、極めて厳しい感染状況にある地域を対象として、下記の事項を含んだ新型コロナワクチン接種迅速化プログラムを策定するよう要望する。

記

1. 都市部において昼間人口への接種を促進するなどの観点から、例外的に都道府県が接種主体として集団接種を実施できるようにすること。
2. 接種を実施する医療従事者の拡充を図る観点から、歯科医師のみならず、医学部・看護学部の学生等や薬剤師に対して研修などを行った上で、ワクチン接種を行えるようにすること。
3. 今後、ワクチンが十分に供給される状況を踏まえ、接種の迅速化を図る観点から、住民票所在地以外の市町村における接種についての手続きを廃止すること。
4. 企業の従業員等への接種を進める観点から、職場での集団接種の実施を可能とするよう制度化を図るとともに、ワクチン休暇の創設について経済団体に働きかけること。

令和3年4月28日

行政改革担当大臣
国家公務員制度担当大臣
内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策・規制改革）
河野 太郎 様

大阪府知事 吉村 洋文